

キタキタ

Kita Kita



新着図書案内 vol. 4 大垣北高校図書情報館 2015年9月10日発行

北高祭、お疲れさまでした。準備で忙しくて最近図書館に来ていなかった人も多いと思いますが、新しい本がたくさん入りましたよ。ご利用お待ちしております！

～文学賞受賞作～

ピースの又吉さんばかり報道されていますが…芥川賞は2人同時受賞ですし、今回の直木賞は、「文句なく面白い」と大絶賛され、選考委員満場一致の受賞となりました。ぜひ手にとってみて下さい。

第153回直木賞受賞作

『流』 東山彰良 著 (講談社)

1975年、偉大なる総統の死の直後、愛すべき祖父は何者かに殺された。17歳。無軌道に生きるわたしには、まだその意味はわからなかった。大陸から台湾、そして日本へ。歴史に刻まれた、一家の流浪と決断の軌跡。

no image

第153回芥川賞受賞作

『スクラップ・アンド・ビルド』

羽田圭介 著 (文藝春秋)

「早う死にたか」 毎日のようにぼやく祖父の願いをかなえてあげようと、ともに暮らす孫の健斗は、ある計画を思いつく。閉塞感の中に可笑しみ漂う、新しい家族小説。

no image

新しく入った本

*本の内容説明はTRCブックポータルより引用しました。

貸出し中の本は予約できます。

『家族という病』

下重暁子 著 (幻冬舎新書)

日本人の多くが「一家団欒」という言葉にあこがれ、そうあらねばならないという呪縛にとらわれている。なぜ「家族」は美化されるのか。家族の実態をえぐりつつ、「家族とは何か」を提起する。

no image

『世界の路上で生まれた奇跡』

金丸文武 著 (学研パブリッシング)

シンガーソングライターの著者が30歳で日本を出発し、歌を歌いながら2年4ヶ月をかけて世界を放浪した旅の記録。毎日3万アクセスの大人気旅ブログを書籍化。

no image

『名鉄沿線の不思議と謎』

大塚英二 監修 (実業之日本社)

JRと一緒に線路を使っている区間があるってほんと? かつて名古屋城のお堀を電車が走っていた? 名古屋鉄道沿線にひそむ地理・地名・歴史の意外な真実やおもしろエピソードが満載。

no image

no image

no image

『王とサーカス』

米澤穂信 著 (東京創元社)

2001年、雑誌の仕事でネパールに向かった太刀洗万智。王宮で王族殺害事件が勃発し、彼女はジャーナリストとして取材を開始するが…。疑問と苦悩の果てに、太刀洗が辿り着いた痛切な真実とは?

『傘をもたない蟻たちは』

加藤シゲアキ 著 (KADOKAWA)

無限の悲しみはどこまでも僕を埋め尽くす。生きづらさを抱えた人々の痛みと希望を描くNEWS・加藤シゲアキ初の短編集。

*映画化決定! テビュー作『ピンクとグレー』も図書館にあります。

『ピオレタ』 寺地はるな 著 (ポプラ社)

婚約者と別れ、道端で泣いていたところを董さんに拾われた妙は、董さんの雑貨屋「ピオレタ」で働くことに。そこは「棺桶」なる美しい箱を売る、少々風変わりな店で…。人生を自分の足で歩くことの豊かさを描く、温かな物語。*第4回ポプラ社小説新人賞受賞

☆保護者の方より寄贈していただきました。ありがとうございました。

『子宮頸がんワクチン事件』 斎藤貴男 著 (集英社インターナショナル)

『新薬の罫』 鳥集徹 著 (文藝春秋)

『子宮頸がんワクチン、副反応と闘う少女とその母たち』 黒川祥子 著 (集英社)

夏休み前に借りた本は、早く返却しましょう。